

# 札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人  
札幌市障がい者スポーツ協会  
発行人 浅香博文  
札幌市西区二十四軒2条6丁目  
電話 011-641-8853  
FAX 011-641-8966

## 「ぎふ清流大会」～第12回全国障害者スポーツ大会報告～



札幌市選手団長 浅香博文

第12回全国障害者スポーツ大会（ぎふ清流大会）が10月13日から15日までの3日間にわたり岐阜県で開催され、札幌市選手団総勢77名が参加いたしました。

本市選手団は、10月11日札幌市役所で結団式を行い、渡部副市長より「悔いのないよう競技に臨んでください。併せて他の選手団や地元の方々と交流を深めてください」との激励の言葉をいただき、出口信真選手、石川佳穂選手が、息を合わせて選手宣誓し一路岐阜県へ出発しました。

大会期間中は、好天続きで札幌の夏を思わせるような気温の中、選手は体調の維持に大変だったと思いますが、すずらんピック以降の強化練習の成果を十分発揮しようと精一杯競技に取り組んだ結果、大会新記録3つ、合計31個のメダルを獲得することができました。

中でも、陸上400mリレー（男女混成4人）では昨年のオーバーゾーンによる失格判定を見事にリベンジし、3位銅メダルを獲得することができました。

団体競技では、昨年準優勝したサッカーチームが唯一出場し1回戦大阪府と対戦。7割方、札幌のボール保持で相手ゴールへ攻め込むが、ポストに嫌われるなどなかなかゴールが決まりずPK戦かと思われた終了間際、相手が放ったシュートにゴールを奪われ惜しくも敗れました。

大会へは、天田障がい保健福祉部長が応援に駆けつけてくださいり、各競技会場へ足を運んでくださいり、熱心に札幌市選手団を応援してくださいました。

大会は無事終了し、16日選手団全員元気に帰札。市役所で解団式を行い、お互いをねぎらい合い、お礼を言い合い、別れを惜しみながら散会したところでした。

選手の皆さんのお健闘に拍手し、引率していただいた役員の皆さんに厚くお礼を申し上げ報告いたします。



第12回 全国障害者スポーツ大会 「ぎふ清流大会」開会式風景



## 第12回 全国障害者スポーツ大会 「ぎふ清流大会」結果報告



氏名	種目	記録	順位
<b>陸上競技</b>			
松田 敦	立幅跳	2m09	4位
	100m	19" 95	5位
<b>水泳</b>			
出口 信真	25m背泳ぎ	36" 75	1位
	50m自由形	1' 09" 09	1位
<b>卓球</b>			
上野 憲一	一般卓球		1位
大木 竜也	一般卓球		2位
高橋あけみ	STT		1位
上林 研二	一般卓球		1位
大滝みゆき	一般卓球		3位
<b>フライングディスク</b>			
小林 秀明	ディスタンス アキュラシー(5m)	13m03 5投	8位 6位
川尻 幸夫	ディスタンス アキュラシー(6m)	30m10 7投	7位 6位
和知 拓海	ディスタンス アキュラシー(6m)	28m59 8投	4位 5位
米津 之正	ディスタンス アキュラシー(7m)	52m46 10投	1位 1位
<b>サッカー</b>			
<b>1回戦敗退</b>			
金メダル	銀メダル	銅メダル	個人合計
16個	7個	8個	31個
<b>ボウリング</b>			
岡部 勝	454点	3位	
茶木 孝男	546点	2位	

氏名	種目	記録	順位
<b>水泳</b>			
伊藤 亜記	50m自由形 50m背泳ぎ	54" 22 1' 00" 51 大会新記録	3位 1位
山崎佳奈子	25m自由形 50m自由形	19" 75 42" 59 大会新記録	1位
西村 鴻	50m自由形 50mバタフライ	35" 05 44" 73	4位 5位
石川 佳穂	50m自由形 50m背泳ぎ	39" 87 45" 89	4位 1位
<b>アーチェリー</b>			
佐藤 雅之	OP50m・30mラウンド	684 大会新記録	1位
<b>フライングディスク</b>			
小林 秀明	ディスタンス アキュラシー(5m)	13m03 5投	8位 6位
川尻 幸夫	ディスタンス アキュラシー(6m)	30m10 7投	7位 6位
和知 拓海	ディスタンス アキュラシー(6m)	28m59 8投	4位 5位
米津 之正	ディスタンス アキュラシー(7m)	52m46 10投	1位 1位
<b>サッカー</b>			
<b>1回戦敗退</b>			
金メダル	銀メダル	銅メダル	個人合計
16個	7個	8個	31個



## 初めて全国大会に参加して

札幌市手をつなぐ育成会事務局長 森 口 正 道

知的の総務という役割をもらって初めて全国障害者スポーツ大会に参加してきました。

全国から67チーム、3000人を超える選手が参加する大会ですから、想像以上に大規模で、沢山の感動を味わいました。

岐阜は、天気も、そして町を挙げての歓待ぶりも、大勢の大会役員とボランティアさんの心のこもったもてなしも、最高でした！

サッカー以外の札幌市選手団に割り当てられた宿舎は、何と「青少年自然の家」！

正直、行く前にがっくり…、不安でした。

実際に、2段ベットの部屋に、競技別、男女別にコーチと選手一緒の4人から8人までの部屋割。テレビは1階のロビーに1台だけ。近くのコンビニまで買い物に行ってくるのに1時間。勿論、居酒屋やスナックは望むべくもありません…。

食事だけは、メインディッシュが「すき焼きと天麩羅」というように2食分は優にあるという豪華版のご馳走攻めでしたが、ご飯を食べてお風呂に入ったら、後は皆と話をするしかない、学生時代の合宿や宿泊研修以降経験したことのない生活が6日間続いたわけです。

でも、選手やコーチは全く不満不平を言うことなく、逆にその環境をチームの結束力強化に繋げ、素晴らしい成績を残してくれました。同じ競技のメンバー同士だけでなく、競技の枠や障がいの違いも超え、本当に息の合った良いチームになったことに、そして皆の思い出づくりに、青少年自然の家は忘れられない存在となりました。

知的の選手団は、若い人が中心になります。その若い彼らが、全国大会というひのき舞台で、極度の緊張の中で、ひるむことなく全力を尽くして競技に臨んだ経験は、彼らを大きく成長させ、その後の人生に素晴らしい財産となることを、そばにいる彼らの表情から、ひしひしと感じさせられました。

同時に、多くの人に体験して欲しいと思いました。

全国大会最高です。スポーツの好きな皆さん、是非チャレンジを!!

## 第12回全国障害者スポーツ大会～ぎふ清流大会～に参加して

ボウリングコーチ 岡 田 健 二

平成24年10月11日～16日までの間、岐阜県でおこなわれました「全国障害者スポーツ大会」に札幌市選手団の一員としてボウリング競技に参加しました。

11日の市役所での結団式後に、バス・飛行機等を利用して岐阜県に入りましたが、改めて日本は広大を感じました。

当初は、日程に余裕があったら岐阜県観光と考えていましたが、宿泊先が自然豊かな場所にあるため、公共交通機関を利用するには難があり、公式練習を行う他の競技のバスに同乗させてもらい会場周辺を散策しました。

14日にボウリング部門の大会があり、「くるみ」から参加した利用者さん2名はそれぞれの枠で2位3位に入賞しました。

閉会式当日は、会場で陸上競技を観戦し閉会式に臨みました。このような大きな大会に初めて参加し、感動の中に帰社しました。

最後になりますが、支えてくださった市の障がい者スポーツ協会の皆さん、裏方で支援に徹していた岐阜県の数多くの方々に改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

本当にありがとうございました。



## 全国大会に参加して

ボウリング 茶木 孝男

第12回全国障害者スポーツ大会に参加しました。

僕は、開会式にでるのは初めてなので緊張しました。

岐阜のボランティアの人や、さいたまのボウリングの選手の人といろんな話をしました。

ボウリングの競技では、金メダルや銀メダルが欲しかったのですが、惜しくも逆転されてしまいました。

自然の家のご飯は、おいしかったです。



## 第12回全国障害者スポーツ大会に出場できしたこと

水泳 石川 佳穂

私は、10月11日木曜日から10月16日火曜日まで、第12回全国障害者スポーツ大会で岐阜市に行きました。

11日木曜日に選手宣誓をしました。「宣誓、私たち選手一同は、輝け、はばたけ、誰もが主役のスローガンのもと、岐阜県で開催される」と言いました。緊張しました。言うことが出来てほっとしました。結団式が終わりました。バスに乗って飛行機に乗りました。降りてからバスに乗って岐阜市少年自然の家に泊りました。

着いてすぐ自然の家で結団式でミナモちゃんがきてプレゼントにファイルとしおりをもらいました。

ミナモちゃんと選手のみんなで写真をとりました。ご飯は、うなぎ丼とスパゲティーがおいしかったです。

次の日はバスに乗って、お弁当を食べて1時から2時50分まで泳ぎました。

次の日は開会式で、緊張してきました。

10月14日日曜日、いよいよ私の番になりました。

クロール50mは39" 87でした。4位でした。嬉しかったです。

悔しかったです。あと1秒でした。

背泳ぎ50mは、49" 89でした。1位でした。嬉しかったです。

涙が出てきそうでした。いっぱい練習して結果を出せて良かったなと思いました。

一緒にいてくれたコーチのみんなと選手のみんなと楽しく過ごせて嬉しかったです。

これから目標として水泳を頑張ります。

本当に、ありがとうございました。

## 輝け はばたけ だれもが主役

水泳 山崎 佳奈子

全国大会は、私にとって初めてのことばかりでした。不安もありましたが、様々な経験ができる、本当に楽しかったです。

公式練習では、全国のトップレベルの人たちと泳いでいるうちに、段々と楽しくなってきました。体も軽く感じられ、どんどん泳ぎ、コーチが心配するくらい練習しました。

初日の25mは、緊張しました。入場時に音楽が流れるなんて、初体験です。緊張しましたが、水に入る少し落ち着きました。タッチが合わなかったけれど、自己ベストを出す事ができました。良かったです。

2日目の50mは、大会記録保持者とのレースです。

気合が入りました。結果は、大会新記録!!自分が狙っていた以上のタイムが出せました。招集所でのチームメイトからの熱い応援や、選手紹介時の声援が力になりました。

また、コーチや家族のサポートがあったからこそ、このような記録を残すことが出来ました。

みんなに、”感謝”の大会でした。



## 全国障害者スポーツ大会を終えて

卓球 大木竜也



このたび、第12回全国障害者スポーツ大会の卓球選手として札幌代表に選出してもらいました。

国体には初めての参加で、大変緊張しましたが、皆様が応援してくださいり、金メダルを取ることができました。

私は、この大会を通じ、多くの方と交流する事ができました。これから私の財産です。

開会式と閉会式の入場行進の時、スタンドから地元の小学生が最後まで大きな声で声援を送っているのを聞いて、感動を頂きました。

ハンディキャップを抱えながらスポーツに打ち込む姿は、大変すばらしいです。

一人でも多くの方が、この大会を目指し、ますます障害者スポーツが盛んになる様に願っています。

## がんばったぎふ清流大会

卓球 上林研二

暑くて、とても天気の良い開会式でした。

僕は、緊張して開会式でました。僕は、高知大会後10年ぶりに出場し、心の中で今回は金メダルをとりたいと思っていました。卓球の会場は、大垣市でした。

2日目、会場に小学校の時の担任の安道先生が応援に来てくれました。「覚えてるか?」と聞かれ、おもかけがあったのでわかりました。

1試合目は、とても緊張しました。初めのうちは、危ないなと思ったけどもり返してギリギリで勝てました。ヒヤリとしました。2セット目も粘って勝ち、3対0で勝つことが出来ました。

お父さんとお母さんが応援に来てくれていました。

2試合目の相手は強かったです。落ちつてプレーをするカットマンの人でした。

1セット取られて、まずいと思いました。安藤コーチから「あまり、あわてないで集中して、出来ることを落ち着いてプレーしよう」とアドバイスされました。

みんなの応援してくれる声が聞こえました。

4セット目は、4対8から逆転できたミラクルでした。金メダルが欲しくて、集中してプレーができました。みんなの応援がうれしかったです。最高の思い出になりました。念願の金メダルがとれて、うれしかったです。

同じグループの試合をした人と写真をとりました。

表彰の時にもらった花たばを大事に持つて帰って、お母さんにあげました。

札幌市の選手のみんなとボランティアの人たちの写真は、良い思い出です。

これからも、しっかり練習して、強くなってまた出場したいです。

札幌の選手や役員の皆さん、ぎふのボランティアの人たちにお世話になりました。ありがとうございました。

## 全国障害者スポーツ大会に参加して

陸上 沢田由美子

私は、この大会の6日間で色々なことを学ぶことができました。スポーツを通して人間関係が深まり、貴重な体験をすることのできた充実した6日間でした。

私は陸上の100mと砲丸投に出場し、100mでは自己ベストを出す事ができとても嬉しかったです。砲丸投げでは自己ベストを出す事が出来ませんでしたが、これからも練習を積み重ねて次回のすずらんピックに出場し、自己ベストを出せるよう頑張りたいと思います。

札幌選手団の皆さんから、応援されて頑張ることができたのだなと思います。

私以外の選手の頑張りを見て、見習うところがたくさんあり、とても勉強になりました。

とても楽しく充実した大会になったのは、コーチをはじめ大会にかかわった方々のサポートのおかげだと、心から思っています。

本当に、6日間ありがとうございました。

## 第12回全国障害者スポーツ大会に出場して

アーチェリー 佐藤 雅之

大分県全国障害者スポーツ大会に出場して以来、5年ぶりに全国障害者スポーツ大会に出場した。選手の顔ぶれは変わっていたが、そんな中で知っている仲間が2人いました。

お揃いのジャージを着た選手の姿が素晴らしい、選手が大勢でとても元気が良かった。

生まれて初めての飛行機に乗り、中部国際空港到着後、名古屋から岐阜に向かい、高山にあるホテルへバスで向かいました。

ホテルは6人部屋で、2段ベッド。みんな下を使っていました。食事はバイキングみたいなもので見本を見ながら、自分でお盆に乗せていくものでしたが、思ったよりおいしく、栄養たっぷりのご馳走のおかげで、身体の調子が良かった。

6人部屋のしきりに取組んだ。責任者の岡崎勇二さんにすっかりお世話になりました。

食事後、自由行動。ろうあ者はたった2人でした。もう一人は、中途失聴者で幸い手話が可能でコミュニケーションもスムーズでした。

13日は練習試合で、アーチェリーの道具を運ぶのに大変でしたが、ボランティアさんが手伝ってくれて本当に助かったが、重たいものを持たせてしまい悪いなと思いました。

14日は競技本番で、役員の皆さんのが応援に来てくださいり最後まで応援して下さったことは、私にとって感激でした。

表彰式では、大会新記録とのことで私の名前が呼ばれて競技場に大きく掲示され、信じられませんでした。

ホテルに戻ると、他の選手が「おめでとう」と祝って下さり、陰でうれし泣きてしまいました。

今回優勝できたことは、渡邊正良先生のご指導の賜物であると感謝しております。今後とも見守って下さるようお願いしたいと思っております。

第12回全国障害者スポーツ大会は、マスコットもポスターもかわいらしく、おおいに楽しめ、思い出多い大会になりました。

## 感 想

陸上 佐藤 明日美

初めての全国大会は、とても緊張しました。今までに出た大会と、緊張感が違います。

私が大会中に思ったことは、絶対にあきらめないで、勝つ気持ちとメダルを持って帰るぞと思っていました！

メダルをとれたときは、とても嬉しかったですし、楽しく走って良い思い出になりました！

そして、また全国大会に出場したいと思っています！

## 初級障害者スポーツ指導員養成講習会を開催

11月10日（土）、11日（日）、17日（土）の3日間の日程で開催した講習会が終了いたしました。今年度は、14名の受講があり、全員が18時間のカリキュラム（講義と実習）を真剣に学び、晴れて「初級障害者スポーツ指導員」として登録されました。

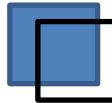
スポーツ指導員の役割は、専門的な知識を活かして、障害内容に基づいた活動上の健康や安全管理、スポーツの喜びや楽しさを理解させ、初心者にスポーツとの出会いの機会を作ることなどを通して障がい者スポーツの普及に寄与することにあります。

受講された14名の今後の指導員としての活躍を期待しています。

当協会では、来年度以降も地域における障がい者のスポーツ活動を支える人材養成を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。



熱心に講義に集中する14名



## どうぎんカーリングスタジアムがオープン ～内覧会に参加～

9月15日（土）に公共施設としては全国初となる通年型の専用施設「どうぎんカーリングスタジアム」（札幌カーリング場）がオープンいたしました。

オープンに先立、9月12日（水）に内覧会が開催され、当協会から26名の関係者が参加し、札幌市スポーツ部の職員から施設概要等の説明を受けました。

施設は、「車いすカーリング」にも対応したバリアフリー構造となっており、2回の観覧席には、16席分の車いす用のスペースが設置されております。

これから、各種大会も予定されておりますので、是非一度訪れてカーリングの面白さを実感してみてください。

因みに、カーリングは、2006年のトリノで開催された冬季オリンピックの女子チームの活躍で人気になった競技ですが、「車いすカーリング」も、このトリノ・パラリンピックから正式競技になっております。

競技人口もまだ多くありませんし、冬のスポーツのイメージがあるカーリングですが、これからは真夏の暑い日でも氷の上でいい汗を流してはいかがですか。

詳しくは下記までお問い合わせください。

○場所 札幌市豊平区月寒東1条9丁目（月寒体育館隣）

○交通機関 地下鉄東豊線「月寒中央駅」3番出口から徒歩5分（約400m）

○問合せ先 TEL(011)853-4572 FAX(011)853-4574



どうぎんカーリング場



見学風景



## ロンドンパラリンピック：車イスラグビー

池崎大輔選手一惜しくも4位

ロンドン・オリンピックに続き、8月29日に開幕したロンドン・パラリンピックに札幌市在住の池崎大輔さんが「車いすラグビー」日本代表チームの一員として出場しました。世界ランキング4位の日本チームの攻撃の要である池崎さんは、日本を出発する前に「ロンドンでは最低でも銅、目標はあくまでも金を狙う」と高い目標を掲げておりましたが、準決勝では世界ランキング3位で前回銀メダルの強敵オーストラリアに敗れ、また、3位決定戦では世界ランキンギ1位の米国と戦いましたが53-43で惜しくも敗れ4位になりました。

10月30日に、札幌市役所を訪れ渡部副市長に結果報告をし、池崎さんは「4年後のリオデジャネイロを目指す」と雪辱を誓っておりました。



副市長に結果報告をする池崎さん

# 賛助会員ご加入ありがとうございました。



## ◆個人

平成24年7月1日～平成24年10月31日 受付順

(敬称略)

佐藤 紀子	三谷 幸吉	加藤 丈詞	佐藤 順子	小林 麻里	仁科 啓孝	仁科 敬子
安田 泰次	彦坂 歌子	佐藤 陽子	中村 文壽	佐賀 弥生	高橋 高志	櫻井 文夫
山崎まゆみ	山田 岩夫	清杉 政敏	後藤 澄子	坂 知子	伊藤 千代	北側 秀俊
大竹 拓	伊藤 孝之	加藤 浩子	加藤 廣信	渡辺 覚	佐藤 哲男	工藤 喜代美
長田 弘幸	舟崎 隆	鈴木 孝芳	相良 朝子	星 哲美	鈴木 幹夫	金井 孝利
一戸 瞬治	満田 つむる	東 健治	平林 由香里	源 新恭子	前田 雅子	西川 ひろみ
柳井 國雄	山田 邦昭	菊地 大志	寺田 正信	千葉 秀代	高橋 幸夫	高橋 千鶴子
川上 重子	荒 ひろみ	立島 正洋				

## ◆団体

平成24年7月1日～平成24年10月31日 受付順

(敬称略)

陸上クラブJ・T・R	社団法人 札幌肢体不自由児者父母の会
株式会社 エムワイコーポレーション	肢体ゲートボールクラブ
新弘設備工業株式会社	サッポロペンギンクラブ
有限会社 安藤プリント	札幌ろうあボウリングクラブ
医療法人社団 小原眼科医院	株式会社 ラ・ヴィル
有限会社 ヒューマンマネージメントコンサルタント	ミズノ㈱北海道営業所
札幌市身体障害者パークゴルフクラブ	財団法人 さっぽろシュリー
FID 札幌すずらん卓球	ジュンスポートクラブ
札幌ろうゲートボールクラブ	ソフトバレーボール S.S.D.V
札特連バスケットボールクラブ	株式会社 結び屋
札幌市身体障害者アーチェリー協会	株式会社 エムケ中田商会
社会福祉法人 札幌市福祉事業団	札幌水泳協会
岩崎電子株式会社	北海道ライナー
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 札幌西事業所	特定非営利活動法人札幌NFC 就労継続支援B型おおぞら
ドリームボッチャ札幌	札幌卓球連盟
日本身体障害者団体連合会 東北・北海道収益事業所	ハンディキャップテニスクラブ
有限公司 開陽総業	札幌陸上競技協会
NPO法人 工房ウッディートイズ	地崎商事株式会社

(平成24年4月1日～10月31日まで)

- ・個人会員 147件 355,500円
- ・法人会員 49件 300,000円
- ・加入合計額 196件 655,500円